

平石地区 本郷北組自治会

「小さな自治会のメリットを活かした加入促進」

●加入世帯数：20世帯

●加入率：74.1%

活動内容

当本郷北組自治会は国道新4号と辰街道の間で、北組自治会と東組自治会の間に位置しています。かつては隣接する北組と同一の組織でありましたが、戦後の混沌とした時期に北組と分かれた経緯があります。今日では自治会が別であるものの他の公民館や子供会等の活動は共にし、自治会加入戸数は20戸と少ないが元気な自治会であります。

<催事>

4月のお花見、7月は3年に一度の平出雷電神社の梵天奉納、8月は老人ホーム高砂荘での盆踊り、10月の体育祭、1月には夫婦が揃っての新年会、小正月のどんどん焼きがあります。

<防犯灯>

15年程前に通学路の安全確保から当自治会から北組自治会を經由し鶉内自治会に至る3自治会が連携しナトリウム灯を設置しました。防犯灯の管理につきましては北組自治会と連携した管理となっています。

<廃品回収>

近年まで子供会の事業としてきたところであるが、少子化に伴い回収事業ができなくなり北組自治会と連携し回収を実施し、収益は公民館の維持

費に充てています。

<話し合い>

近年、渡河道路整備事業や宇都宮市道の整備に係る説明会等の開催につきましても、北組自治会と両自治会長が日頃から情報を交換し、同一步調をとっております。特に、秋の体育祭等では本郷北組、北組の連合チームとしての参加であり、公民館活動でも北組と連携する自治会です。

加入率を維持する秘訣

当自治会は、先の東日本大震災で被災した平出雷電神社の復興事業の折、地域の氏神様等を大事に保存しようと寄付と奉仕を氏子に呼びかけた奉仕作業を完了しました。

県の渡河道路や市道整備についても、説明会を数多く開催し会員が納得できました。

自治会未加入の方には共益費（防犯灯・消防協力）を検討し、2年越しで協力を願ったところ先頃理解が得られました。

一度は退会した方にも先頃、共益費の理解をいただいたことから、小さな自治会故にできる策を講じて再入会を促し、地域内の皆さんが高齢になっても声掛け合え、安心して暮らせるような自治会を目指そうと思います。